

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-24 河川維持補修事業 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
					338	河川維持補修事業	
主管課	河川課	関連課	下水道課・総合防災課		1262	河川維持補修事業	
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	護岸等の補修や除草・浚渫等の維持管理により、水害から人命・財産を守る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	人口	176,669人	176,484人				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	14,248千円	57,343千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	河川講習会 準用河川の修繕	
	(負担金等)				評価	○	
	(一般財源)	14,248千円	57,343千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	0.9人	0.9人			目標値	実績値
	人件費	7,911千円	8,130千円		20年度	5回 50m	3回 44m
	協働の パートナー				21年度	5回 35m	2回 55m
事務事業 運営経費	総事業費	22,159千円	65,473千円		22年度		
	市民1人当 りの経費	125円	371円		23年度		
	対象者1人 当りの経費				最終年度 ( 年度)		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)財政状況から施設修繕計画が実施されていないことから、今後良好な維持管理を保持することが 危惧される。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)規定内の予算で、護岸の修繕を進めるため安全性を考慮しながら低廉な工法を検討した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 準用河川修繕計画に沿った修繕が多く残っている。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 修繕計画の数値目標はもとより、適切な評価指標を設定する必要がある。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性		
A	有	近年の都市型水害被害状況から、準用河川や水路等の補修・補強及び浚渫等の事業拡大を図る。		A	有	河川維持補修事業を計画的かつ効率的・効果的に行う。	
課長名		河川課長 米木 弘行		部名・部長名		都市整備部 山内 廣行	